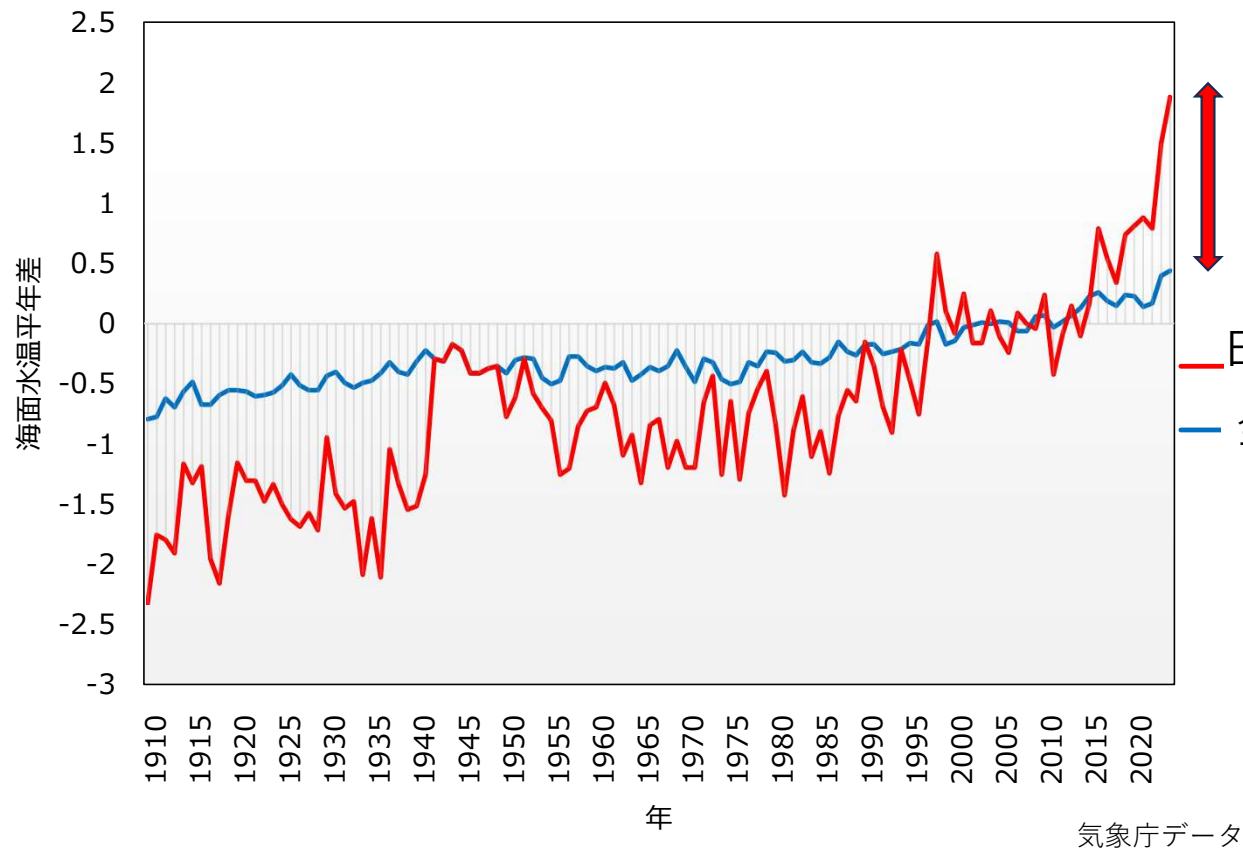


# 海洋環境の変化に対応した漁業の在り方 対象魚種の多角化の取り組み

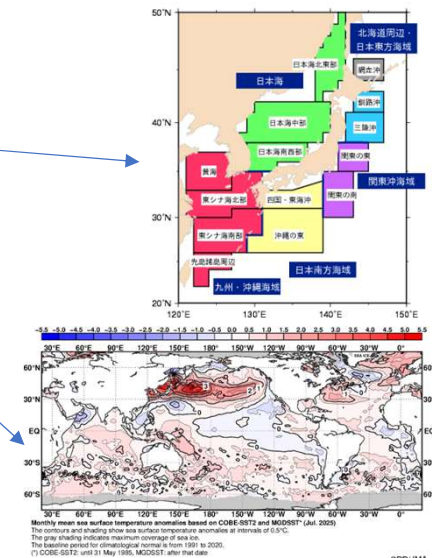
水産研究・教育機構 開発調査センター  
加藤慶樹

## 海面水温の長期変化傾向

(1991~2020年の平均値との比較)



日本近海の変動が大きい

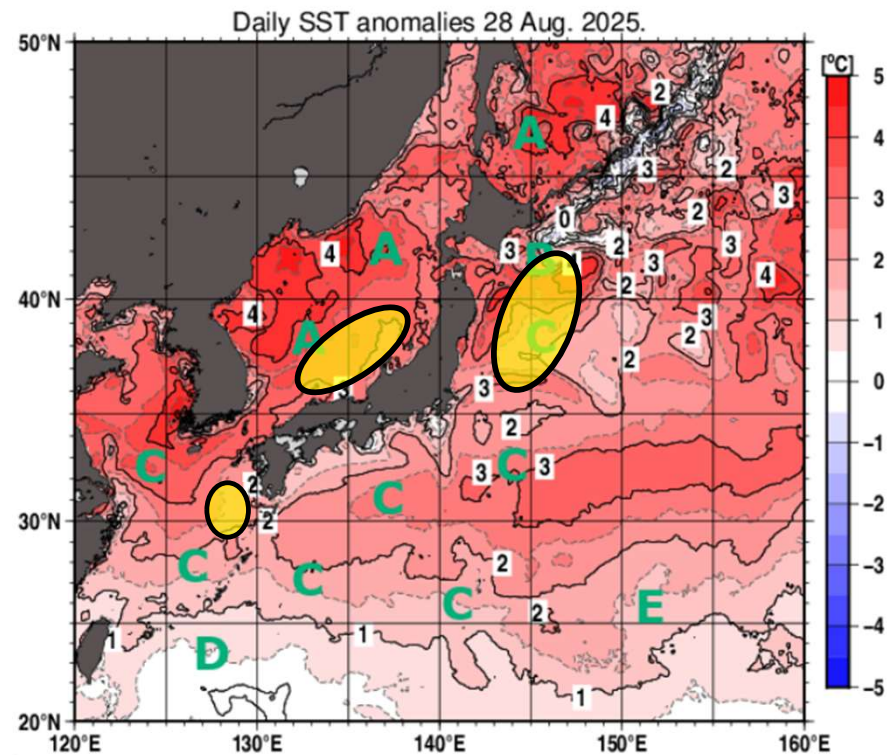
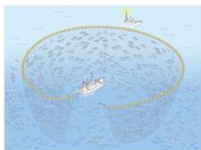


## 日本各地の漁業現場で起きている変化

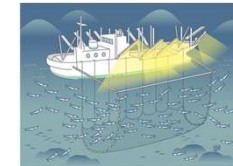


日本海高温化→スルメイカ釣り  
漁獲減少、秋田県沖ではハタハ  
タ漁獲減少、暖水性魚類（シ  
イラなど）増加

東シナ海は2016年頃から流  
速の上昇と不規則な変化  
→まき網の操業回数減少



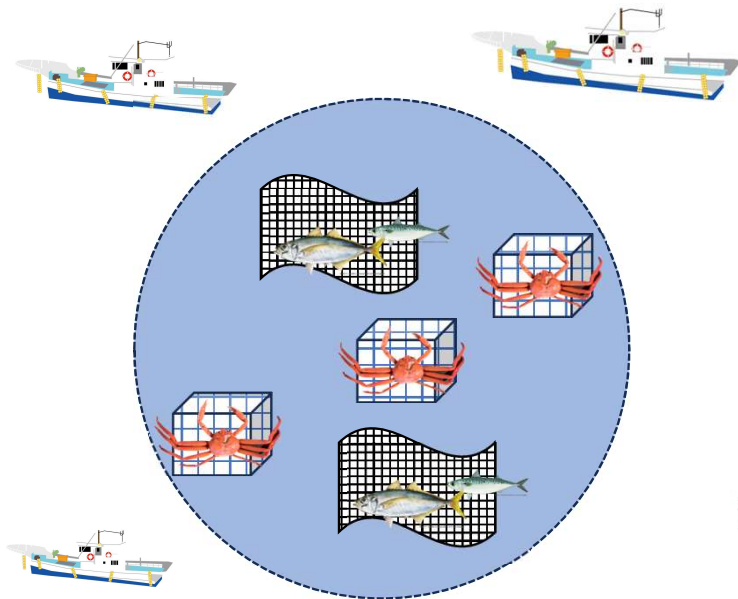
気象庁データ



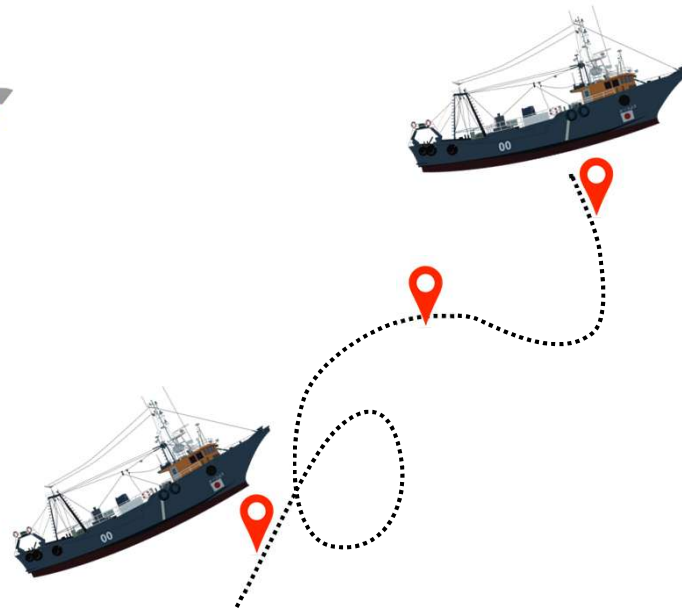
道東から東北沖の高水温化  
→サンマやサバなどの漁獲量  
減少、暖水性魚類（ブリ、マ  
ダイ、タチウオなど）増加

## 気候変動に対応する漁業の適応策

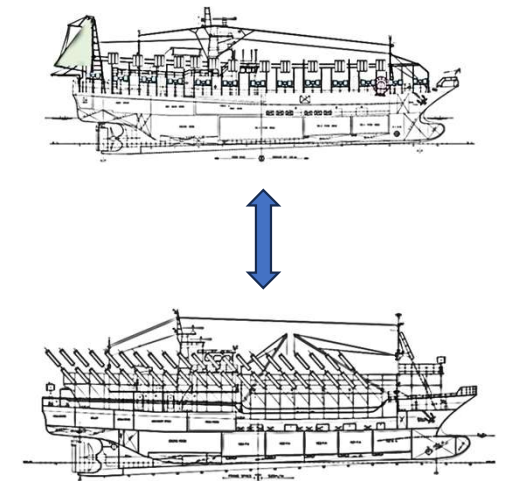
**A 漁場を変えず  
対象魚種or漁法を変更する**



**B 対象魚種or漁法を変えず  
漁場を変化させる**



**C 対象魚種or漁法も漁場  
を変化させる**



Samhouri *et al.* 2024を改変

<https://doi.org/10.1371/journal.pclm.0000285.g002>

# 海洋環境の変化に適応する漁業の在り方



	事例	導入コスト	収益性	その他
漁場を変えず 対象魚種or漁法を変更	ホッコクアカエビ ドスイカ	<b>低</b> 0～100万円	<b>低</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ローカルな漁業で可能</li> <li>・<b>生態系の構造</b>に関する研究が必要</li> </ul>
対象魚種or漁法を変えず 漁場を変更	スルメイカ アカイカ	<b>中</b> 1000万円程度	<b>中</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旋網などの中大型船で応用可能</li> <li>・<b>漁場予測</b>などの研究が重要</li> </ul>
対象魚種、漁法も 漁場も変更	サンマ アカイカ	<b>高</b> 1億8千万円程度	<b>高</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資本力のある経営体で応用可能</li> <li>・操業許可の課題もある</li> <li>・<b>船体構造</b>の研究が必須</li> </ul>